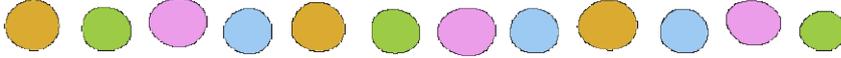


なかすか さくらがおか たかやま

中須賀・桜ヶ丘・高山マップ



2 中須賀コース

① 岡田 善太郎碑

明治34年、古三津村の岡田善太郎が、家屋を構え、中須賀の発展のため、さまざまな功績を挙げた。現在は、その功績を称え、石碑が立てられている。



② 伊予鉄三津駅改築



改築前の伊予鉄三津駅だよ。

明治21年10月日本最初の軽便鉄道伊予鉄道が松山～三津間に開通した。老朽化のため、平成20年8月から建て替え工事が行われ、翌年2月5日に落成式が行われた。



③ 石崎ナカ顕彰碑



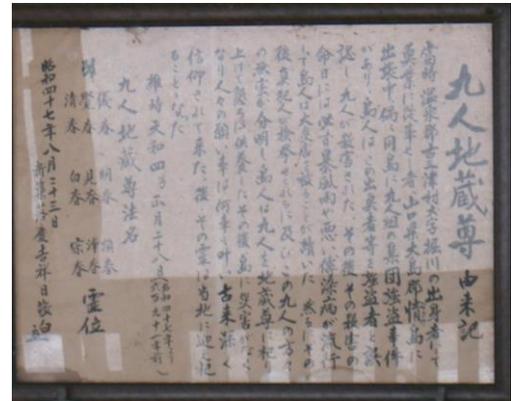
石崎ナカは、文政2年(1819年)、三津で生まれ、女性ばかりの寺子屋を建てた。ナカが伝えた「平生心得」や「処世訓」は、今日でも立派な教えとして残っている。昭和60年2月に伊予鉄三津駅の南側に石崎ナカの顕彰碑が立てられた。顕彰碑には、ナカの伝えた「平生心得」と「処世訓」が刻まれている。

④ くはんにじぞうぞん
九人地蔵尊



2010.07.26

この額には次のようなことが書かれてあるよ。



とうじ おんせんぐんふるみつむらおおあざほりかわ しゅつしんしゃ ぎよぎょう じゅうじ もの
 当時、温泉郡古三津村大字堀川の出身者にして漁業に従事せし者、
 やまぐちけんおおしまぐんなさけしま しゅつちようちゆう たまたまどうしま くにんぐみ しゅうだんごうとうじけん
 山口県大島郡情島に出張中、偶、同島に九人組の集団強盗事件が
 あり、島人はこの出漁者等を強盗者と誤認し、九人が殺害された。
 その後、その殺害の命日には、必ず暴風雨や悪い伝染病が流行し
 て、島人は大災害を被ることが続いた。然るに、その後真犯人が検挙
 せられるに及び、この九人の方々の無実が分明し、島人は九人を、地蔵
 尊に祀り上げて懇ろに供養した。
 その後、島に災害がなく、人々の願い事は何事も叶い、古来深く信仰
 されてきた。後、その霊は当地に迎え祀ることとなった。

い じ てん な よん ね しょう が つ に じゅう は ち に ち
 維持天和四子正月二十八日
 (昭和47年より式百九十一年前)

九人地蔵尊法名		
儀春	明春	順春
覚春	見春	浄春
清春	日春	宗春
		霊位

しょう わ ねん が つ に ち
 昭和47年8月23日
 しんちく ら つけ き ち じょう に ち けい は く
 新築落成吉祥日敬白



まえ はなし すこ
前のページのお話を、もう少し
分かりやすくしたよ。読んでみてね。

くほんじざうせん ばなし
九人地蔵尊のお話

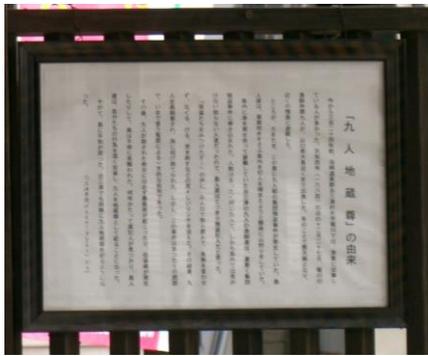
いま ねんまえ
今からおよそ330年前、
とうじ おんせんぐん ふるみ つむら おおざほり
当時温泉郡古三津村大字堀
かわ ぎよぎょう じゅうじ
川では、漁業に従事してい
ひと おお てんな ねん
る人が多かった。天和4年
(1684年)の旧の12月
にち ほりかわ りょうし なかまく
28日、堀川の漁師仲間九
にん やまぐちけん おおしまちか
人が、山口県大島近くまで



しゅつりょう ふゆ あくてんこう ちか なさけじま ひなん
出漁した。冬のことで悪天候となり、近くの情島に避難した。
ところが、たまたま、この島に九人組の集団強盗事件が発生し
ていた。しま くにんぐみ しゅうだんごうとうじけん はっせい
島人たちは、寒風吹きすさぶ島内を犯人を捕まえようと
いっしょうけんめい やまが
一生懸命に山狩りをしていた。

とうない み よ あ ひなん ふるみつ くにん りょうし うんわる
島内に身を寄せ合って避難していた古三津の九人の漁師は、運悪
く しゅうだんごうとうじけん ま こ にんずう おな くにん
集団強盗事件に巻き込まれた。人数はまったく同じ九人で、し
かも島内では見かけない知らない人たちだったので、島人たちはて
とうない とうない し ひと しまびと
っきり強盗犯人だと思った。

「強盗たちをみつけたぞ!」の声に、みんなで取り囲んで、有無
を言わせず、なぐる、ける、突き刺すなどの荒々しいリンチを加え
た。その結果、くにんぜんいんさつが い うみ な す
九人全員殺害され、海に投げ捨てられた。しかし、
この事件はまったくの誤認で、いまで言うえんざい いっぽうてき しょけい
この事件はまったくの誤認で、いまで言う冤罪による一方的な処刑
であった。



ご くにん ころ めいち かなら
その後、九人が殺された命日には必
ず ぼうふう お てんせんびょう はっせい
暴風雨が起こったり、伝染病が発生
したりして、しま ふこう み ま
島は不幸に見舞われた。
なんねん しんはんじん み しまびと
何年かたって真犯人が見つかり、島人
たちは、自分たちの行為を深く反省
し、くにん じざうさま
九人を地蔵様としてまつること
になった。

しま へいわ もと
やがて、島に平和が戻った。ふるみつ どうよう くにんじざうそん
古三津でも同様に九人地蔵尊をまつ
るようになった。

さんこう み つかいわい
参考『三津界限はええとこぞなもし』